

KaMoSu

かもす

NO.15



学生考案のオリジナルキャラクター
伝内柿子さん



伝内柿を未来に 研究から広がる復活の道



約250年前に黒川へ伝わり、長く親しまれてきた伝内柿。甘い一方で渋い実が混じる難しさから、庭先で放置され、次第に忘れられつつありました。そんな中、「昔おいしい“伝内”があったよね」「庭のあれはそうなのかな？」という市民の声が、見直すきっかけになりました。古い品種ゆえ記録は少ないものの、この味を未来へ残したい——。地域の思いと学生の探究心が重なり、2022年、特産品化プロジェクトが始まりました。

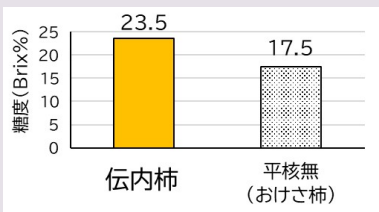
ここしか出会えない特別な果実「伝内柿」

新潟食料農業大学・松本ゼミ（果樹園芸学）が、旧中条町・黒川村・新発田市の古い資料と地図を片手に、地域の畑や集落を訪ね歩きながら探索調査を実施。その調査から、伝内柿が旧黒川藩・三日市藩の地域にだけに分布する品種であることを明らかにしました。胎内市・新発田市周辺だけに残る、唯一無二の“希少在来品種・伝内柿”。市民の「この柿、伝内？」の声が、学生により伝内柿の魅力の一つと裏付けられました。



藩界地図 文化の年(1809年)における黒川藩、三日市藩の藩地
黄色の○印は新潟食料農業大学による調査(2022～2023年)で伝内柿確認した地点

おどろく甘いけど渋い果実も多い



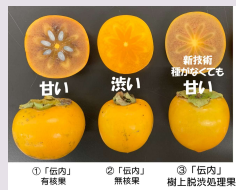
柿の中でも抜群に甘い。でも時々渋い果実が発生。それは、「不完全甘ガキ」の特性であることを明らかにしました。



▲地域の方から干し柿の吊り方を教えてもらいました



渋くない「伝内柿」をつくる！



地域の農家さんの貴重な木をお借りして、研究を進めています。



▲約100年生の古木を剪定で若返らせよう！！



学生が「地域に貢献できる」を実感！

学生が中心となり、貼付式樹上脱渋法を開発。地域住民を集めた講習会も実施。

大学院博士課程 郎実念さん

地域にもっともっと伝内柿を！

苗木づくりのための種まきにも挑戦中。地域に苗を配布し、復活させます！！この地域の特産品にしたい！！



今後の展望

熊対策も兼ねた古木の再生研究を開始

